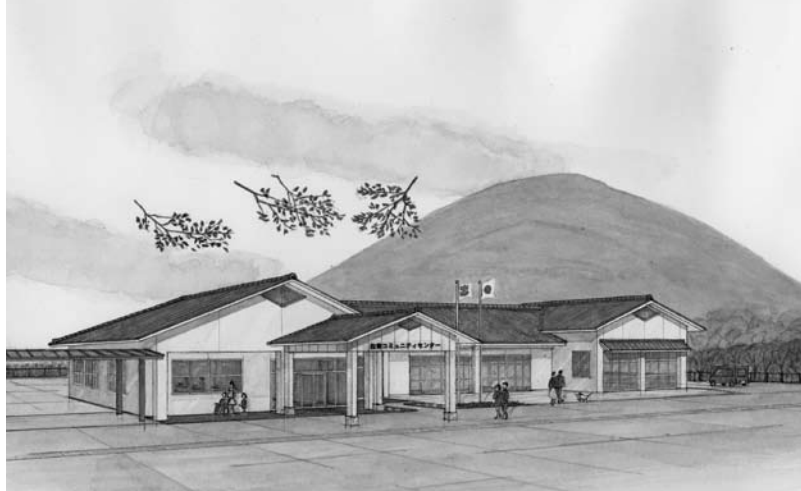


12月定例市議会が、11月27日から12月15日までの会期で開催され、平成20年度一般会計第4回補正予算など、24議案が原案どおり可決、議員提出の1議案が否決されました。

主な議決案件をお知らせします。



平成21年8月の完成を予定している佐香コミュニティセンターの建築費は約2億8,800万円になる見込みです。佐香コミュニティセンターは佐香中学校跡地に「海と山の交流館」として整備します

—12月補正予算—

●一般会計

総額8億5,500万円の増額補正
(補正後の予算総額は696億3,000万円)

主な内容

- ◎出雲阿国座(仮称)整備事業……………3,100万円
- ◎市長・市議会議員選挙費……………1,420万円
- ◎出雲市健康福祉拠点施設(仮称)整備事業 380万円
- ◎乳幼児医療費助成事業……………3,650万円
- ◎私立認可保育所運営費負担金 ……2億3,500万円
- ◎トキ受入れ準備調査事業……………980万円
- ◎土地区画整理助成事業【新規】……………3,500万円
- ◎防災情報伝達システム整備事業……………2,600万円

●特別会計

総額9,730万円の減額補正
(補正後の予算総額は414億3,493万円)

内容

- ◎国民健康保険事業……………4億4,300万円
- ◎老人保健医療事業……………△6億3,500万円
- ◎後期高齢者医療事業……………6,930万円
- ◎介護保険事業……………1,520万円
- ◎簡易水道事業……………1,020万円

●病院事業会計

資本的支出 総額4,605万円の増額
(補正後の予算総額は9億5,307万円)

主な内容

- ◎総合医療センター施設整備事業……………2,830万円

予算案件

- ◎平成20年度一般会計第4回・第5回補正予算・特別会計補正予算(左表)
- ◎平成20年度出雲市病院事業会計第1回補正予算(左表)

条例案件

- ①出雲市役所の位置を定める条例の一部改正
- 新庁舎の竣工に伴い、出雲市役所の位置を変更するため、条例改正を行うものです。出雲市役所の位置を「出雲市今市町109番地1」から「出雲市今市町70番地」へ変更します。

単行議決案件

- ◎財産の無償譲渡について
- 出雲市立平田保育所の民営化に伴い、当該建物を社会福祉法人に無償で譲渡します。
- ◎工事請負契約の締結について
- ▽佐香コミュニティセンター建築工事
- ◎工事委託協定の締結について
- ▽都市計画道路大津中央一の谷線(2工区)街路事業に伴う山陰線直江・出雲市間384k284m付近山廻架道橋改築工事委託
- ◎スクールのバス取得
- ▽車両3台

いずもの話題 TOWN NEWS

大社門前町の再生を目指して ～「神迎いの道」美装化～

現在、市では、「21世紀出雲神話観光大国」の実現を目標に交流人口1千万人を目指し、様々な事業に取り組んでいます。とりわけ大社地区では、平成18年度から22年度までの5か年間の取り組みをまとめた「大社地区都市再生整備計画」を策定し、大社門前町の総合的な再生整備を始めています。

「神迎いの道」の美装化もこの整備計画に基づく取り組みのひとつです。「神迎いの道」は、旧暦の10月10日、全国各地から参集された神々が稲佐浜から出雲大社へと向かわれる道で、10月に地道風舗装による美装化が一部区間完成しました。また、出雲大社周辺でも、電線類地中化に合わせて道路の美装化を進めており、散策ルートとして一層の魅力アップを図っていきます。

一方、神門通りでは、駐車場機能を備えたイベント広場として神門通り交通広場(仮称)を、ご縁広場には、一般利用のほか、大社地域の旅館を中心として配湯する温泉スタンドを、平成21年春の供用開始に向けて現在整備中です。

これらの事業や今後予定される事業により、大社門前町のメインストリートである神門通りの賑わいを取り戻すとともに、出雲大社周辺の歴史や街並みの観光活用をすすめ、引き続き大社門前町の再生を目指していきます。



地元「神迎いの道の会」の皆さんにより、この町を訪れる観光客の方々へおもてなしの心で、軒先をお花で飾ったり、夜間は灯籠を灯したりするなど、通りにささやかなお化粧をする活動が行われています

「出雲市松くい虫防除検討会議」から 報告書が提出されました

今年5月に、市が実施した松くい虫防除薬剤空中散布の終了後に多くの市民の健康被害が発生したことを受け、空中散布との関連性を調査する健康被害原因調査委員会が設置されました。健康被害の原因については、委員の見解を一本化するには至りませんでした。ただ、農業空中散布の可能性を否定できないとする意見が多数を占めました。

この報告を受け、来年度以降の松枯れ対策について検討する「出雲市松くい虫防除検討会議」を10月3日に立ち上げ検討・審議を重ね、12月2日には、出雲市松くい虫防除検討会議(片桐成夫会長)から市長に対して、「出雲市の松林保全に関する報告について」の報告書が提出されました。その中では、市民の健康維持・増進と松くい虫防除を両立しうる対策として、空中散布以外の方法で松林の保全を図ることが提言されています。

この報告を受け、市では今後の松くい虫防除の具体的な方針を構築していきます。



出雲市の松林保全に関する報告書を西尾市長に提出する片桐成夫会長(12月2日)